



みんなの文芸

俳句

ことぶき俳句会

てのひらの粉雪消えて春隣
濯ぎもの部屋の奥まで差す冬日
春寒しトマトの値段そつと置く
すり切れし辞書愛用し春の午後
窓越しの小鳥の声も春めきぬ
冬海のここが一番ソコベの水
着ぶくれてバス停もない道を行く
流れゆく歳月早し鬼は外
山積みの雪憂し太陽ひとつだけ

稲田 文江
大山みどり
越坂 順子
橋本 葉子
長谷川アキ
福原 仁子
松尾枝実子
渡邊 道
高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

課題吟 話
受け狙い言つて話の腰を折り
髪を染め春の序曲を話し出す
冬眠か辰巳天井か話わく
話題ありホワイトアウト事故増える
話には夢と少しのほら遊ぶ
同年代惚け話し合う淋しさも

山村 幹雄
阿部 麗紅
柴田 弘子
星 愛子
加藤 未貴
橋本 葉子

川柳

上浦幌句の会

健康で八十路で出かける新年会
寒い朝心が和む樹氷かな
原発を造つておいて知らんぷり
健康な時は忘れていた感謝
迷う日々慈悲の心と母の声

笹島カヨ子
河村みよ子
大西 功
福田すま子
芳川 乙美

短歌

心友愛会

よろめいて歩く姿の自分みて
こんなにも長く生きているとは
物干しにずらりと並ぶ白頭鳥の
餌のおねだりしている様に
今日も又仲間と会える笑顔あり
食事も進む心友愛会
笑い声昔の遊び花札も
子供のころの思い出乗せて
老いた今ふと寂しさに先思う
負けるものかと思ひ直して
流れ行く月日の歩み早すぎて
今日一日楽しく生きる

堀井あやの
長屋みよ子
小澤 つや
富田さた子
文屋 房子
田代 千工
浅野 京子
山久保敬子
前川 静江
増田ツセ子
山岸 明美
角田美代子
佐藤 成子
星 愛子

編集後記

■表紙の写真は、浦幌中学校卒業証書授与式後のひとコマです。両親、恩師、後輩たち、たくさんの人達の祝福を受け卒業する生徒たち。卒業おめでとう！これからは勉強に遊びに、青春を謳歌してください！

■結構前のことですが、久々に戻った実家で小学校の卒業アルバムを見ました。懐かしさのあまり、読みふけていたと、自分の将来の夢が書いてありました。ほかの友達は野球選手、芸能人、大会社の社長！など、小学生らしい夢がたくさん書いてあったのですが、自分のところに書いてあったのは、ひと言『公務員』。『夢は叶ったから良かったけど、もっと大きな夢は持たなかったのか』と過去の自分に少しがっかりしました。

■あの震災からもう2年が経ちました。改めて犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、あの震災を忘れることなく、日頃から災害への備えを怠らないようにしたいと思えます。被災地の復興は未だ進まず。これからは被災された方への出来る限りの支援をよろしく願います。

(川)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。